

新島中学校新校舎完成



東日本大震災で被災し、使用ができなくなっていた新島中学校校舎の新築復旧工事が、8月に完了しました。

■校舎の特徴

新校舎は、コンクリート打ち出しやタイル仕上げとなっていて、モダンな印象を与える外観でありながら、対照的に内部の仕上げには木が多く使われていて、柔らかい雰囲気があります。
普通教室への入口は引き戸で全面開放できるようにしていて、教室とワークスペースを一体として使うこともできるため、授業内容に応じて

柔軟に形を変えることができます。

トイレは従来の湿式（床に水をまく清掃方法）から乾式（家庭と同じ清掃方法）へ変更し、便器を洋式化することで臭いや汚れが発生しにくくなりました。また、照明や水洗は、センサーで稼働するものにして、トイレ内での接触が少なくなるよう衛生面に配慮されています。

さらに、一部に温水洗浄便座を設置したほか、女子トイレには擬音装置を設置して節水できるようにするなど、他の学校トイレの先駆けとなるような工夫がされています。
問い合わせ
教育総務課 ☎(50)1220

新校舎竣工式

生徒代表あいさつ

生徒会長 根本将伍さん（3年 新島小学校で学校生活を

送っているときには「たとえ壊れていたとしても早く中学校の校舎に入りたい」と毎日訴える生徒もいました。

自分が中学校にいる間は、新校舎で学校生活を送ることはできないだろうという思いがありました。3年生になって、夏休み明けから新しい校



力強く校歌斉唱

式の最後は生徒全員による校歌斉唱で、新しくなった学舎の完成を祝いました。



被災から新校舎完成まで

① 東日本大震災で校舎が半壊に

卒業式が終わり、在校生が部活動に励んでいた時、大きな揺れが襲いました。校舎は傾き、つなぎ目部分は裂け、半壊しました。

② 新島小学校を間借りして授業

校舎の半壊や液状化被害の影響で、平成23年4月から7月までの4カ月間は、新島小学校での間借り生活を余儀なくされました。

③ 仮設校舎が完成

復旧復興の第一歩として、中学校の敷地内にプレハブの仮設校舎が完成。平成23年9月から今年の7月まで授業が行われました。



④ 待望の新校舎で授業

8月半ばに完成した新校舎。8月下旬には生徒全員による引越越し作業が行われ、9月からは、2年半という長い間待ちに待った新校舎での生活が始まりました。

た。生徒たちは真新しい教室での授業に思わず笑みがこぼれ、積極的に勉強に励んでいます。

生徒インタビュー

生徒会副会長 山本佑佳子さん（3年）



初めて見る新校舎に「きれい」「広い」と思いました。また、開放感のある教室なので、心改まって緊張感を持って授業を受けられます。

新校舎の概要

- 場所 香取市佐原ハ4428番地
- 校舎構造 鉄筋コンクリート造2階建て
- 延床面積 2,660.10㎡（1階 1,345.32㎡・2階 1,314.78㎡）
- 総事業費 9億7,726万円（仮設校舎含む）
- 事業期間 平成23年6月21日～平成25年8月31日
- 校舎概要
 - ◇1階 事務室・職員室・校長室・会議室・放送室・配膳室・多目的トイレ・保健室・教育相談室・家庭科室・美術室・多目的室
 - ◇2階 教室4・理科室・コンピュータ室・図書室・音楽室・特別活動室・生徒更衣室・ワークスペース
- 付帯施設 駐輪場・外部トイレ・体育倉庫・渡り廊下・受水槽・浄化槽・変電設備・校門など外構一式